

「FD・SD 教育改善支援拠点」 のめざすもの

名古屋大学高等教育研究センター
夏目 達也

「FD・SD 教育改善支援拠点」の目的

- ①大学教員の教育能力および職員の
職業能力の開発・向上を通じて、
教職員の自発的な教育改善の取組
を促進すること。
- ②中部地域を中心とした各大学に
おける教育・学生支援の質向上を
実現すること。

これまでの実績

- 対象者の職位・職務・専門性に対応した体系的FD・SDプログラムの開発・提供。
- プログラム関連教材の開発・提供。
- 諸外国の拠点大学との連携。
 - プログラム・教材開発。
- 国際的FD・SD団体での教職員の研修。
- 国内大学へのFD・SD実施のサポート。
 - 講師の派遣、各種支援ツールの提供

これまでの実績

「FD・SDコンソーシアム名古屋」

- 性格の似た4大学での活動
 - 目標を共有しやすい大学で、内容の充実した組織づくり
- コンソーシアムの実績を拡大・普及
 - 中部地域における大学の教育力底上げへの貢献

これまでの実績

- 対象者の職位・職務・専門性に対応した体系的FD・SDプログラムの開発・提供。
- プログラム関連教材の開発・提供。
- 諸外国の拠点大学との連携。
 - プログラム・教材開発。
- 国際的FD・SD団体での教職員の研修。
- 国内大学へのFD・SD実施のサポート。
 - 講師の派遣、各種支援ツールの提供

今後の活動の基本方針

- FD・SDプログラムの開発
 - 教職員・学生の多様なニーズの発掘
 - 多様な職務・ニーズに対応した効果的なプログラム
- FD・SD関連の各種ツールの開発
 - FD・SDの効果促進の基本条件

今後の新たな活動

- FD・SD 担当教職員向けの研修プログラムの実施

- 各大学からの教職員派遣受入・研修
- 各大学でのFD・SD実施能力の形成
- 各大学の改革のリーダー・主体形成

今後の新たな活動

- 諸外国の先進大学との連携

- 共同研究・開発
- FD・SDの経験交流
- 教員の相互派遣

- 国内FD・SD 拠点と連携

- 相互の機能拡充

今後の新たな活動

- 大学院生の学修とキャリア支援
– プログラムの多様化
 - 大学院の正規科目（集中講義）
 - 2日間プログラム
 - 他大学での「教育実習」など

今後の新たな活動

- 大学執行部の職務能力開発
– 設置者別・役職者別等のニーズ
調査・分析
 - 国立・公立・私立大学
 - 学長・副学長（各担当部門）・学長
補佐等
 - 各部局：学部長・副学部長等

今後の新たな活動

- 専門分野別のFD・SD
 - －FD・SDを切実な要求にするための条件
- 柔軟なFD・SDの組織変革
 - －「研修」だけでなく、教育の質保証の「研究」。学会での研究成果の発表等も。
- プログラム・テキストの作成
 - －哲学、物理、経済学、英語教育はすでに実績。それ以外へも拡大へ。

今後の新たな活動

- 優秀学生の教育プログラム
- 留学生の受入支援
- アカデミック・ライティング教育